

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (紀要論文) ピアサポート活動の導入と実践	共著	2025年3月	広島国際大学基盤教育センター紀要 第9号(改題第4号)	薬学部上級生が主体となり構成されたピアサポートチームの活動とその効果について検証した。その結果、本活動は下級生への精神的支えになるだけでなく、活動に関わった上級生自身の成長も促すことが示唆された。(13頁)(兒玉安史、金子哲夫、 <u>山中浩泰</u> 、山口雅史) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
2 (紀要論文) チームビルディング研修受講前後における新入生の自己意識変化	共著	2024年3月	広島国際大学基盤教育センター紀要 第8号(改題第3号)	薬学部新入生に向け、チームビルディング研修(TB研修)を実施し、研修前後における学生の自己意識変化を解析した。TB研修の実施は、薬学生のモチベーションやコミュニケーション力の向上や学生生活の不安解消に貢献することが考察された。(15頁)(兒玉安史、金子哲夫、 <u>山中浩泰</u> 、山口雅史) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
3 (学術論文) Molecular epidemiological and pharmaceutical studies of methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> isolated at hospitals in Kure City, Japan	共著	2022年2月	Access Microbiology 4(2) 000319 Microbiology Society	国立病院機構呉医療センターで分離されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)株237株について、パルスフィールドゲル電気泳動法によるゲノム解析並びに病原遺伝子の保有率等を調査した。さらに、抗菌薬の使用状況と分離率との関係についても検討した。(15頁)(前田龍人他、著者計12名、 <u>山中浩泰【責任著者】</u> ) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
4 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease degrades several protein components of tight junctions and assists bacterial translocation across the T84 monolayer	共著	2022年2月	Front. Cell. Infect. Microbiol. 12 824547 Frontiers	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ(ASP)の作用に関し、TJ構成タンパク質に注目して解析した。その結果、ASPが上皮バリア破壊を助長すること、TJの構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASPが claudin-7 や ZO タンパク質(ZO-1、ZO-2 および ZO-3)の分解に関わることを明らかにした。(15頁)上田充展、小林秀丈、清家総史、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u> ) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
5 (学術論文) Outer membrane vesicles released from <i>Aeromonas</i> strains are involved in the biofilm formation	共著	2021年1月	Front. Microbiol. 11 613650 Frontiers	<i>Aeromonas</i> 属菌のバイオフィーム形成における外膜小胞の影響に関して研究した。その結果、菌の外膜から遊離する膜小胞が <i>Aeromonas</i> のバイオフィーム形成を助長する可能性を見出した。(14頁)(清家総史、小林秀丈、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u> ) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
6 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease decreases epithelial barrier function in T84 cells and accelerates bacterial translocation across the T84 monolayer in vitro	共著	2019年8月	PLOS ONE 14(8) e0221344. Public Library of Science	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ(ASP)の役割について解析した。その結果、ASPが上皮バリア破壊を助長すること、AJの構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASPが nectin2 や afadin の分解に関わることを明らかにした。(21頁)(小林秀丈、清家総史、山口雅史、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰【責任著者】</u> ) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。